

# 北中給食だより

岩沼市立岩沼北中学校  
令和 7 年 1 月  
文責 管理栄養士 本田 薫

新年明けましておめでとうございます。  
今年度も、残すところあと3か月となりました。引き続き、毎日の給食時間が待ち遠しくなるような、魅力ある給食作り  
に努めていきたいと思ひます。  
本年もよろしくお願ひいたします。



## 1月給食目標

給食について考えよう



## 1月24日~30日は、全国学校給食週間です!

日本の学校給食は、明治 22 年、山形県鶴岡町(現:鶴岡市)の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。

戦後、子供たちの栄養不足を改善するため、昭和 21 年にアメリカの支援団体「LARA(アジア救済公認団体)」から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年 1 月から学校給食が再開されることになりました。昭和 21 年 12 月 24 日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和 25 年度からは、冬季休業と重ならない 1 月 24 日~30 日までの 1 週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

### 阪神・淡路大震災から 30 年

## 災害時の『食』を備えましょう



1995(平成 7)年 1 月 17 日に、阪神・淡路大震災が発生しました。寒さ厳しい中、被災した多くの人たちを支えたのは、ボランティアによって届けられた炊き出しの「おむすび」です。震災発生から 5 年が過ぎた 2000 年、兵庫県が事務局を務める「ごはんを食べよう国民運動推進協議会」は、食料の重要性や、ボランティアの善意を忘れないために、この日を「おむすびの日」と決めました。\*

阪神・淡路大震災の発生から今年で 30 年となります。昨年元日に発生した令和 6 年能登半島地震が記憶に新しいですが、この30年の間にも東日本大震災など各地で大きな災害が頻発しています。災害発生直後は支援が届かないということを前提に、一人ひとりが自分の命は自分で守ることを意識し、普段から備えておくことが大切です。

※2018(平成 30)年 8 月 31 日に同協議会は解散し、この取組は、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構へ引き継がれています。

## 災害時の食の備え



★非常食・日常食品・持ち歩き用品の3つを備えておきましょう。水と熱源は必需品です。

そのまま食べられる

### 非常食

アルファ化米、缶詰、レトルト食品、菓子類など

ローリングストックで備える

### 日常食品

お米、乾麺、乾物、日持ちのする野菜・果物、調味料など

外出時の

### 持ち歩き用品

飲料水、チョコレート・あめなどの菓子